

「自律分散型沿線都市」の実現を目指し、新しい働き方に対応する住宅地近接のオフィスビル
 「睦ビル 二子玉川」を7月1日に開業します

東急株式会社

当社は、今般、従来型の「住まい＝郊外中心」、「オフィス・商業＝都心中心」という一軸構造の変化や、職住近接やテレワークなどの新たなライフスタイルの急速な浸透を踏まえ、「自律分散型沿線都市」の実現を目指すなか、二子玉川エリアにおいて、当社が資産活用コンサルティングを行った、新しい働き方に対応する住宅地近接のオフィスビル「睦ビル 二子玉川」(以下、本物件)を7月1日(木)に開業します。

当社は、これまで培ってきた街づくりのノウハウや当社グループの幅広い事業領域を活かし、土地オーナーの資産価値向上・課題解決に向けた施策をワンストップで提案する、資産活用コンサルティングを展開しています。

本物件は、田園都市線・大井町線二子玉川駅から徒歩6分、閑静な国分寺崖線の足元に位置し、「二子玉川エリアの自然を感じながら働くことができ、環境に配慮したオフィスビル」をコンセプトとしています。

本物件には、丸子川の自然を借景にできる北側への窓の設置や、4階の緑化テラスの設置などにより、オフィスのワーカーが自然を感じながら働くことのできる空間設計にしています。

また、CO₂削減の取り組みとして、本物件では庇の設置・LOW-Eガラスの採用による日射遮蔽、太陽光発電システム導入などを行っています。加えて、駐車場には電気自動車用の充電スタンド設備を取り入れています。

当社は、人々のニーズが多様化・複層化する中で、住宅地に近接した新たな働き方に対応するシェアオフィス、スモールオフィスなどをさらに整備することで、自律分散型沿線都市の実現を目指し、東急線沿線の持続的な資産価値・魅力向上を推進します。

詳細は別紙の通りです。



▲外観イメージ(南側)



▲物件位置図

以 上

【別紙】

■「睦ビル 二子玉川」概要

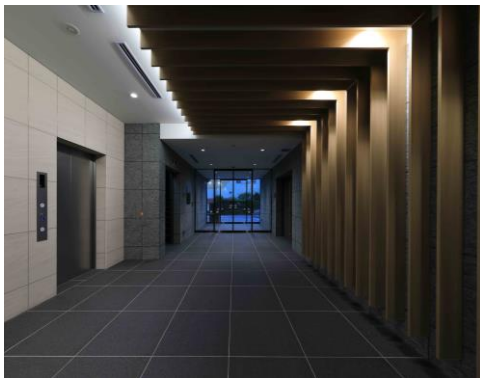
- ・名称：「睦ビル 二子玉川」
- ・所在地：東京都世田谷区玉川二丁目16番6号
※東急田園都市線・大井町線「二子玉川」駅徒歩6分
- ・延床面積：2,247.22㎡(679.78坪)
- ・構造・規模：鉄筋コンクリート造地上4階建て
- ・用途：事務所
- ・竣工：2021年6月30日
- ・土地建物所有者：睦特殊金属工業株式会社
- ・コンサルティング：東急株式会社
- ・デザイン監修：株式会社アルキスト
- ・設計監理：東急建設株式会社
- ・施工：東急建設株式会社
- ・運営管理：東急株式会社
- ・建物管理：東急プロパティマネジメント株式会社
- ・警備：東急セキュリティ株式会社
- ・物件構成：1階～3階 事務所 ※東急株式会社が賃借し、転貸する
4階 睦特殊金属工業株式会社 本社

・CO₂削減の取り組み：

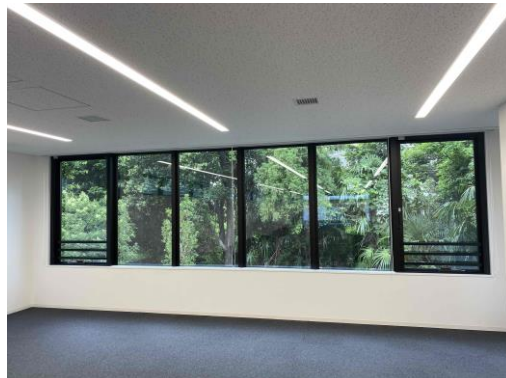
太陽光発電設備の設置、庇設置(南側)、LOW-Eガラスの採用、昼光利用制御、エアフローウィンドウの採用(4Fのみ)、クールチューブの採用、電気自動車用の充電スタンド

・施設イメージ

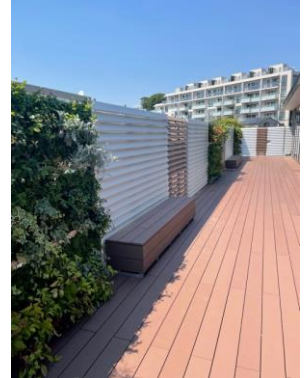
丸子川の自然を借景にできる北側への窓の設置や、4階の緑化テラスの設置などにより、オフィスワーカーが自然を感じながら働くことのできる空間設計にしています。



▲エントランス



▲オフィスからの景色



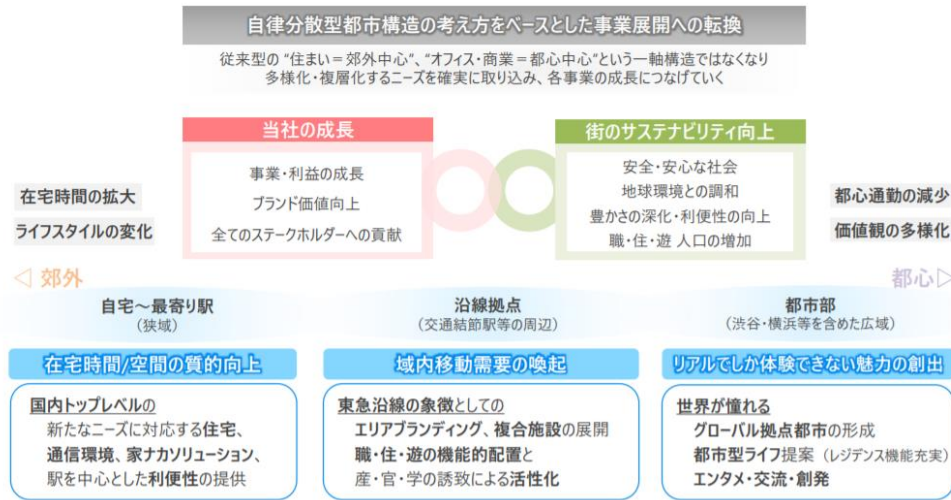
▲緑化テラス

【参考】

「自律分散型都市構造」の考え方をベースとした東急の今後の取り組み

当社は、中期3か年経営計画(計画年度2021年～2023年度)において、従来型の「住まい＝郊外中心」、「オフィス・商業＝都心中心」という一軸構造ではなくなった現状を踏まえ、多様化・複層化するニーズを取り込み、各事業の成長につなげていきます。沿線拠点(交通結節駅等の周辺)においては、東急線沿線の象徴としてのエリアブランディング、複合施設の展開、職・住・遊の機能的配置と産・官・学の誘致による活性化を今後も積極的に行っていきます。

行動やニーズをはじめとする社会の変容をとらえ、中長期的なパラダイム変化の兆候を意識した上で各事業における戦略を構築し、持続的な成長につなげる



▲中期3か年経営計画「求められる価値の変化について」